



院長
真崎 雅和

Dr.米谷&真崎のレール講座

患話休題

かんわきゅうだい

34

スギ花粉症の新しい治療法②



前々回、スギ花粉症の新しい治療法として「舌下免疫療法」についてご紹介いたしました。舌下免疫療法とは、スギ花粉のエキスを少量から徐々に増やしながら投与して、アレルギー反応を起こさないように体質を改善する治療法です。当初、6月に治療薬が発売される予定でしたが延期されたため、治療の開始は10月以降になるようです。スギ花粉症に対する舌下免疫療法は、花粉飛散前に少なくとも3カ月間の治療が必要なため、来年の花粉シーズンにギリギリ間に合うといった状況でしょうか。

舌下免疫療法の対象者は、12歳以上の一般的なアレルギー剤の治療で症状が改善しない方で、一部の高血圧治療薬(β阻害剤)を内服中の方や、重症な喘息を合併している、妊娠中の方などは対象外となります。

実際の投与方法は、1日1回舌の下にエキスを滴下し、2分間含んだ後に飲み込むといったもので、これを2週間かけて維持量まで徐々に増量します。3週目からは維持量をスギ花粉が飛散していない時期も含めて、少なくとも2年間は毎日継続していきます。舌下免疫療法は自宅で行えるため、従来の皮下注射法に比べて通院回数が少なく済むメリットはありますが、根気のある治療法であることは変



わりありません。主な副作用として、投与部位である口の中の腫れや痒みなどがありますが、アナフィラキシーショックのような重大な副作用は皮下注射法よりも少ないと考えられています。なお、治療を開始して1カ月以内や花粉飛散期に副作用が生じやすいため、花粉飛散期に治療を開始することはできません。また、副作用が出現するのは服用後30分以内が多く、自宅で発生する可能性が高いため、対処法についても十分に説明を受けて理解していただくことが大切です。

期待できる治療効果は、症状の軽減、内服薬の減量、喘息をはじめとする他のアレルギー性疾患の予防などがあり、治療後もある程度の期間は効果が持続します。根治する例は10〜20%程度ですが、症状の改善を実感できた例まで含めると全体の約70%の方に有効であると考えられています。しかし、全ての方に十分な効果が表れるわけではないため、花粉飛散期には抗アレルギー剤の併用が必要となる可能性はあります。現時点では、少ない併用薬で症状を減らすための治療法と理解してください。

診察時間が近づいたことをお知らせする

メールサービスを
約30分前

ご利用ください。
ご希望の方はメルアドを受付へ!!



急患 随時受付

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
午後 3:00~6:30	○	○	○	休診	○	△ 3:00~4:00	休診

真崎耳鼻咽喉科医院

TEL.018-845-0234 FAX.018-847-1321 秋田市土崎港中央6-8-3